

## 総合防災訓練に続いて、『防災まちづくり』

5・6月に総合防災訓練を  
開催することになりました。

## に関する意見交換会を開催します！

朱一学区では、昨年度に『朱一学区防災まちづくり協議会』を立ち上げ、朱一らしさを大切にしながら災害に強いまちを目指して、防災まちづくりに取り組んでいます。

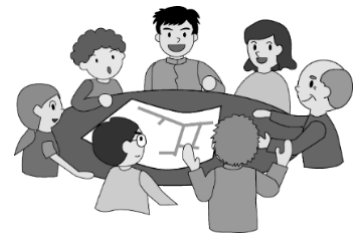
今年度のはじめの取組として、総合防災訓練に続いて、住民のみなさんとともに、お住まいの町内の現状と防災上の課題、課題を解決するための具体的な対策等について、意見交換を行います。みなさんのご意見・アイデアをいただきながら、みんなで防災まちづくりの取組を進めていきますので、ご参加よろしくお願ひします！

なお、意見交換会でいただいたご意見・アイデアを反映して、路地の状況や地域の集合同所などを記載した『防災まちづくりマップ』を取りまとめ全戸配布する予定です。

### 『防災まちづくり』に関する意見交換会（総合防災訓練に続いて行います。）

#### 《 みなさんから頂きたいご意見やアイデア 》

- ①現状と防災上の課題（各町内）
- ②課題を解決するための具体的な取組（各町内）
- ③自分で取り組むこと、みんなで取り組むこと（各町内）
- ④防災まちづくりマップの内容や形態



### 【自主防災会からのお知らせ】 ～総合防災訓練について～

平素は何かと自主防災会にご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。今年5・6月に4ブロックに分けて「総合防災訓練」を開催することとなりました。以下の日程を予定しておりますので、みなさんのご参加よろしくお願ひします。

詳細につきましては、「**総合防災訓練のご案内**」文を回覧しますので、ご確認ください。

開催日：5/10（日）、5/31（日）、6/13（土）、6/21（日）

時 間：9時00分～12時00分（11時ごろから意見交換会） 場 所：朱一小学校

#### 5月10日（日）

北 聖 町 南 部  
北 聖 町 西 部  
職 司 町 北 部  
職 司 町 西 部  
職 司 町 中 部  
職 司 町 東 北 部  
勸 学 院 町 北 部  
南 聖 町 北 部  
池ノ内町西北部  
池ノ内町東北部  
池ノ内町東南部

#### 5月31日（日）

池ノ内町中甲西部  
池ノ内町中甲東部  
池ノ内町中乙部  
池ノ内町西部  
池ノ内町三条部  
勸学院町南部  
南 聖 町 南 部  
丸 美 ハ イ ツ  
馬 場 町 西 北 部  
馬 場 町 北 部  
馬 場 町 西 部  
朱 雀 町 北 部  
アクシルコート京都二条

#### 6月13日（土）

馬 場 町 東 部  
馬 場 町 南 部  
馬 場 町 中 部  
馬 場 町 東 南 部  
デリード四条壬生  
朱 雀 町 東 南 部  
朱 雀 材 木 町  
朱 雀 ハ イ ツ  
御 所 ノ 内 町 北 部  
御 所 ノ 内 町 東 部  
北 材 木 町  
ピ ア レ ス 千 本

#### 6月21日（日）

御 所 ノ 内 町 南 部  
中 材 木 町  
南 材 木 町  
花 井 町  
南 花 井 町  
壬 生 井 公 団  
第 二 公 団  
坊 城 町 北 部  
坊 城 町 東 部  
坊 城 町 西 部  
西 坊 四 町  
東 坊 四 町  
平 和 町

### 身近な町内の「防災まちづくり」を みんなで考えました！

ご協力ありがとうございました！

～「防災まちづくり」に関する意見交換会の開催のご報告～

去る5月10日・31日、6月13日・21日の4日間にわたり、総合防災訓練に続いて「防災まちづくり」に関する意見交換会を開催しました。多くの住民のみなさんの参加のもと、身近な町内の現状・課題を見つめ直し、災害に強い安全・安心なまちをつくるための取組などについて意見交換を行いました。意見交換会でいただいたご意見・アイデアは今後の「防災まちづくり」の参考にさせていただくとともに、路地の状況や地域の集合場所などをまとめた「防災まちづくりマップ」を全戸配布する予定としています。



## 身近な町内の「防災まちづくり」を みんなで考えました！

～『防災リーダー研修』の開催のご報告～

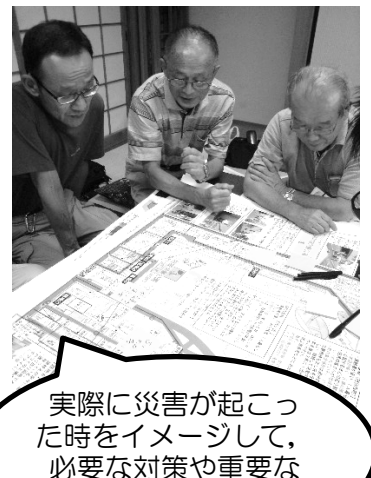
町内会長・町防災部長  
のみなさま、  
お疲れさまでした！

去る9月8日、総合防災訓練に続いて開催した「防災まちづくり」に関する意見交換会を振り返り、地域の課題解決に向けた取組などを考える『防災リーダー研修』を開催しました。ご参加頂いた町内会長や町防災部長のみなさんと一緒に、災害が起こった時をイメージして、命を守る安心・安全なまちをつくるための具体的な取組などについて意見交換を行いました。意見交換会で頂いたご意見をもとに、「すぐにできる対策」や耐震の啓発・情報発信に取り組むとともに、『防災まちづくりマップ』や目指すまちの将来像（防災まちづくりに関する方針・計画）を検討していきます。引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いします！



避難路沿いは耐震が必要という意見が多く聞かれました！

「地域の集合場所」や「避難所」の役割を確認しました！



実際に災害が起こった時をイメージして、必要な対策や重要な道を話し合いました！

### 『防災リーダー研修』でのご意見・アイデア等の例

#### 地域住民のみなさんが「地域の集合場所」に無事に集まるために必要な対策について

- ・朱一小学校に向かう道沿いに耐震が必要な建物がある。
- ・道幅が広くても、古い建物は耐震が必要。
- ・集合場所の駐車場周りのブロック塀を確認して、倒れそうな場合は改善する。
- ・建物は丈夫だが、空き家の管理は徹底すべき。
- ・町内のお地蔵前から、広い駐車場に集合場所を変更したい。
- ・姉坊城児童公園に13町内の住民全員が集まるのは難しい。

#### 「地域の集合場所」から「避難所」への避難を支える大切な『みち』について

- ・姉小路通や三条通、坊城通などは重要な道であり、地震が起きても、建物が倒れないようにすべき。
- ・道の確保も大切だが、建物が地震で倒れないようにしなければならない。
- ・耐震は大切だが、個人にお願いするのは難しい。
- ・時間が掛かっても安全な道を通って避難したほうが良い。
- ・一時的に避難できる場所を確認しておく。

### 朱一小学校6年生みんな 「防災まちづくり」を考えました！

朱一小学校6年生の  
みなさん、  
お疲れさまでした！

～総合的な学習『すぎくの時間』と連携した取組のご報告～

昨年11～12月に、朱一小学校6年生が総合的な学習『すぎくの時間』において「防災まちづくり」を学びました。

安心・安全なまちづくりに向けた地域の方のお話や、学区全体で進めている『防災まちづくり』の取組を学んだ後、実際にまちに出て、路地の幅や状況、地震で倒れそうな建物やブロック塀などを確認しました。「まちあるき」の後は、自分たちで取り組めることや地域みんなで行き届くべきことを考え、地域のみなさんへのメッセージとして命を守るために必要なことを取りまとめました。

今後も地域全体で「防災まちづくり」に取り組んでいきますので、引き続き、ご理解・ご協力よろしくお願ひします！

子どもたちが取りまとめた壁新聞(ニュース)は朱一会館や朱一小学校に掲示する予定です！

#### ～こんなことに取り組みました！～

##### 1. 『防災』について学ぼう (地域の取組み、密集市街地対策、地震につよい家づくりの学習)

- ・自主防災会や地域の見守り隊、消防団など地域の取組みの学習
- ・災害に強いまちをつくるための「防災まちづくり」や地震に強い家づくりの学習



##### 2. 『防災まちあるき』(残したい『良いところ』、なおしたい『危険なところ』の確認)

- ・地域の「良いところ」、直したほうがよい「危険なところ」の確認
- ・路地の幅や状況、消火器や防災バケツ、危険なブロック塀や空き家等の確認



##### 3. 『防災まちあるき』の振り返り (災害に強いまちをつくるために必要な取組み)

- ・『防災まちあるき』で自分たちが気づいた点を地図や写真を使って整理
- ・災害に強いまちをつくるために必要な取組みを検討し、自助、共助、公助の視点で整理



##### 4. 地域のみなさんに伝えたいことのまとめ (地域への情報発信)

- ・地域の人たちに情報発信するため、自分たちが学んだことを壁新聞(ニュース)として取りまとめ
- ・地域のみなさんへのメッセージを記載







## 「防災まちづくりマップ」が 完成しました！



平成26年度から取り組んでいる「防災まちづくり」活動の一環として、地域住民のみなさんや朱一小学校の子どもたちと一緒に取り組んだ「まちあるき」、「防災まちづくり」に関する意見交換などをもとに作成した「防災まちづくりマップ」が完成しました。

いつ発生するか分からない災害に備え、日頃から身近な町内の情報や災害時の避難の流れなどを確認して頂くとともに、各ご家庭で「防災まちづくりマップ」をいつでも確認できる場所に保管して頂きますよう、お願い致します。

今後も、学区全体で「防災まちづくり」に取り組んでいきますので、引き続き、ご理解・ご協力よろしくお願ひします！

### 災害が起こった時の避難の流れを確認しておきましょう！

大きな揺れを感じたら・・・

#### 1 自分の身の安全を確保しましょう

- 火元(ストーブ・ガスレンジなど)の安全確認
- 避難するときのために出口を確認
- ラジオなどで正確な災害情報を収集
- 家族の安否を確認

避難するときには・・・

- 非常持ち出し品のチェック
- 避難路(自宅～集合場所)の確認
- ガスの元栓、電気のブレーカーを閉める
- 家の戸締りや非常持ち出しリュックの持参
- 隣近所(特に要援護者)の安否確認
- 歩きやすい運動靴で避難

災害に備えて、日頃から準備心がけましょう。

発災から30分を目標に！  
避難時はがれきや倒壊した家屋、道路の亀裂に注意しましょう。

#### 2 『町内会の集合場所』に集まりましょう

安否確認や被害状況を確認し、集まった人で救助活動を行いましょう。

に行きます。

お住まいの町内の『町内会の集合場所』を記入してください。

発災から3時間を目標に！  
お年寄りや体の不自由な方、子どもたちに寄り添って！！

各町の代表者や救助に参加できる方

#### 『地域の集合場所』に集まりましょう

- ・代表者は被害状況等を共有しましょう。
- ・集まった複数の町内が連携し、町内だけで救助できなかったところの救助活動を行いましょう。

【地域の集合場所】中京中学校(第1エリア)

各町の代表者や救助に参加できる方は『地域の集合場所』を確認しておきましょう。

エリアの地図で位置を確認しておきましょう。

#### 3 『朱一小学校』(避難所)に避難しましょう

各町の避難者数や被害状況を本部(自主防災会)に報告してください。学区全体の状況を把握し、今後の救助計画を検討します。

学区全体の地図で位置を確認しておきましょう。



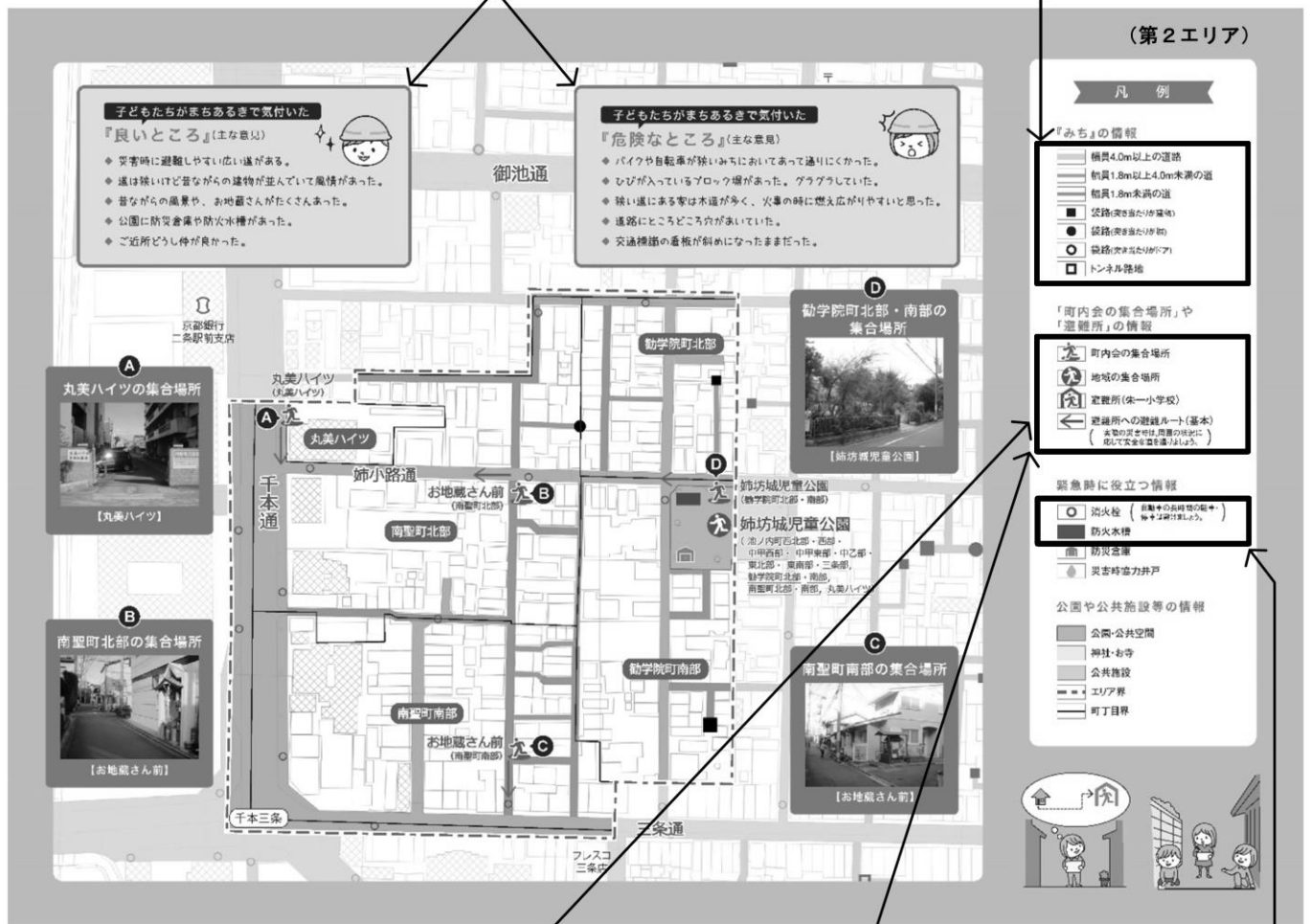
## ■「防災まちづくりマップ」を活用しましょう！

「防災まちづくりマップ」は、学区内の「みち」の状況など、災害が起こった時に役立つ情報や『町内会の集合場所』などを地図に書き込んだものです。災害時だけでなく、常日頃から防災意識を持ち、まちの安全性を確認しましょう。

### 「防災まちづくりマップ」に掲載している情報 ～学区を7つのエリアに分け、エリア別に情報を掲載しています～

朱一小学校の子どもたちが「まちあるき」で気付いた『良いところ』と『危険なところ』をまとめています。子どもの目線からも、まちの安全性を確認しましょう。

「みち」の幅員ごとに色分けをし、行き止まりの道（袋路）は突き当たりの状況を整理しています。身近な「みち」を確認しましょう。



『町内会の集合場所』や、『町内会の集合場所』から『避難所(朱一町学校)』までのルートを確認し、危険な箇所等があれば対応策をみんなで話し合しましょう。

『みち』の情報も合わせて、自宅から『町内会の集合場所』に向かう避難経路も確認しましょう。

消火栓や防火水槽は、常に使える状態にしておくことが大切です。日頃から車やバイクの駐車の際には注意しましょう。

### Topic 1

## 「防災まちづくりマップ」を活用した防災訓練を検討しています！

平成28年度の総合防災訓練では、今回完成した「防災まちづくりマップ」を活用して、災害時の避難の流れ等を確認・訓練する取組を検討しています。詳細が決まりましたら、改めて情報発信しますので、みなさんのご参加・ご協力をお願いします。

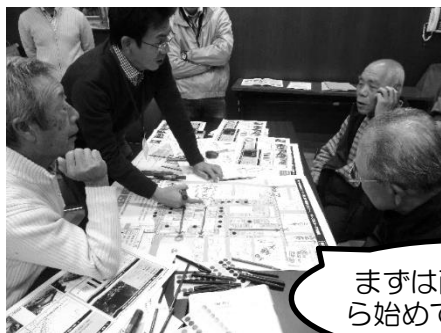
## ■「第1回 防災・耐震セミナー」を開催しました！

去る12月6日、馬場町南部・朱雀町東南部・御所ノ内町北部・御所ノ内町東部を対象として、「第1回 防災・耐震セミナー」を開催しました。セミナーでは、災害につよい家づくりを学んだ後、町ごとに分かれ、地震が起こった時をイメージして、建物や路地、まちの状況を地図に書き込み、必要な対策について意見交換しました。意見交換会で頂いたご意見をもとに**目指すまちの将来像**（「防災まちづくり」に関する方針・計画）を検討していきます。今後も、**耐震の啓発・情報発信**に取り組むとともに、他の町内を対象に第2回のセミナーを開催しますので、ご協力のほど、よろしくお願いします！

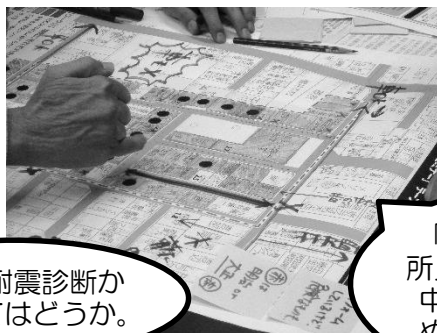
### 災害につよいまちをつくるために確認したポイント

- ①昭和56年以前に建てられた家  
昭和56年以前とそれ以降の建物では、地震に対する強さが異なります。震度6強の地震が起こった場合、昭和56年以前の建物の約60%が倒壊するおそれがあるとされています。
- ②地震時に倒れなさそうな建物
- ③災害時に一時的に逃げ込める平面  
駐車場や空き地
- ④空き家
- ⑤災害時に通れなくなるかもしれない道

阪神・淡路大震災では、幅4m未満の道の約70%が、建物の倒壊などにより、通行不可になりました。



まずは耐震診断から始めてはどうか。



「町内会の集会所」への避難経路を中心に耐震化を進めることが大切！

### Topic 1

## 袋路の避難の安全性を高める取り組みを進めています！

昨年から、各ご町内のみなさんと協議会が連携して取り組んでいる災害に強いまちづくりに向けた具体的な対策の一環として、職司町北部の袋路のトンネル路地を除却する工事が進んでいます。トンネル路地は、京都らしい町並みを形成している一方、耐震性能が不十分な場合は、安全な避難の妨げとなることがあります。除却や、耐震改修工事を行うなど、**安全性を高める取組が必要です**。今後も、京都らしい町並みを大切にしながら、安全なまちを目指して、順次、取組を進めていきますので、引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いします！



トンネル部分だけの改修や除却でも、補助が受けられます！

### Topic 2

## 『防災まちづくりマップ』の作成を進めています！

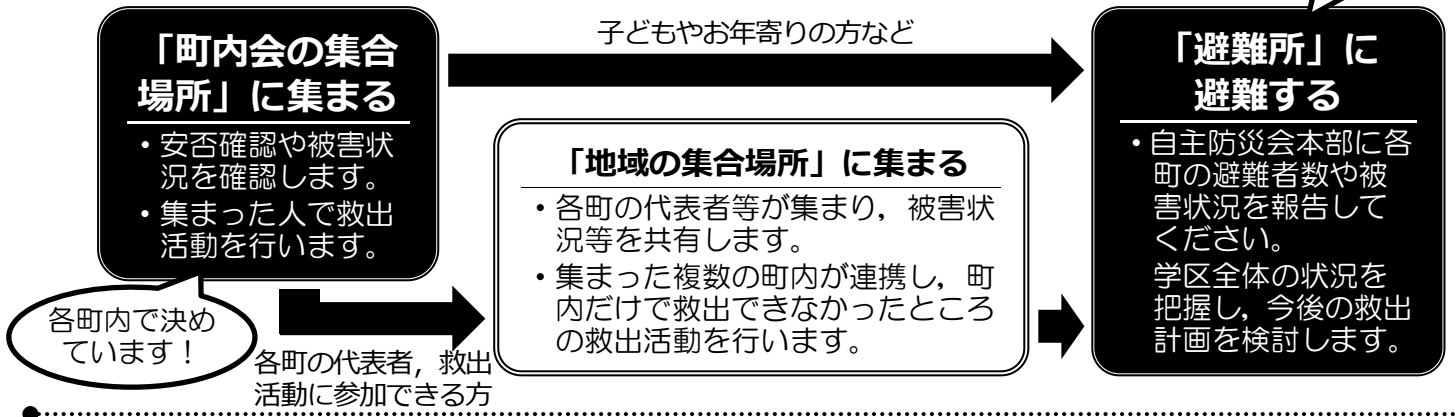
現在、朱一学区防災まちづくり協議会では、路地の幅や状況、「町内会の集会所」など日頃から防災に関する情報を確認して頂くため、これまでに頂いた**住民のみなさんの意見**や**朱一小学校6年生の子どもたちの声**を盛り込み、3月末を目標に『防災まちづくりマップ』の作成に取り組んでいます。2月中を目途に各町内会長・防災部長のみなさまに**最終確認**をお願いすることになりますので、ご理解・ご協力をお願いします。



## ■災害時の避難の流れ（「地域の集合場所」等の役割）について

災害時の避難の流れは以下のとおりとなりますので、ご確認ください。

朱一小学校です！



## ■袋路に緊急避難扉を設置しました！

昨年度から、各ご町内のみなさんと協議会が連携して取り組んでいる「すぐにできる対策」の一環として、職司町北部の袋路に緊急避難扉を設置しました。今後も、順次、取組を進めていきますので、引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いいたします！



### 緊急避難経路整備費助成事業

内容：袋路から複数の方向に通り抜けられるようにする工事  
 助成額：上限30万円（全額補助）  
 問合せ先：京都市まち再生・創造推進室（密集市街地・細街路対策担当）  
 電話：222-3503

この制度を活用して、袋路に緊急避難扉を設置しました！

## ■朱一小学校の6年生が『防災まちあるき』を行います！

～地域の「防災まちづくり」と連携した取組～

今年度も11月頃に、朱一小学校の6年生が実際にまちに出て、子どもたちの視点から、路地の幅や状況、地震等で倒れそうな建物やブロック塀、災害時に避難できそうな空き地や駐車場などを確認し、命を守るために必要なこと、自分たちで取り組めることなどについて考えます。



※写真は昨年写真です。

朱一小学校も地域と一緒に「防災まちづくり」に取り組んでいます。あたたかい目で子どもたちの取組を見守って頂きますよう、ご理解・ご協力よろしくお願いします！

- ★防災について学習する授業の一環として「防災まちあるき」を行います。
- ★子どもたちの安全確保にご協力ください。
- ★災害が起こった時に身近な地域で心配なことなどをお聞きすることがあるかもしれませんので、ご理解・ご協力をお願いします。



**■みなさんから頂いたご意見やアイデアを参考にしながら、  
今後も「防災まちづくり」の取組を進めていきます！**

今後は、「朱一小学校との連携事業」や「町部長リーダー研修」等を踏まえて、「防災まちづくりマップ」の作成に取り組みます。また、袋路の2方向避難の確保など、まちを安全にするための「すぐにできる対策」などに取り組むとともに、目指すまちの将来像（防災まちづくりに関する方針・計画）についても検討していきます。引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いいたします！

『防災まちづくり』に関する意見交換会でのご意見・アイデア等の例

**具体的な対策に関すること**

- みんなの意見を聞きながら進めていくべき。
- 袋路どうしをつなぐ緊急避難ドアの設置を進めている。
- 路地の中で火災が発生したことを考えると、2方向避難経路を確保した方が良い。
- 古い家、長屋が多い。
- 耐震のPRができるとう良い。
- 空き家が増加している。
- 所有者が分からない空き家もある。
- 表札がない家も増えており、誰が住んでいるか分からない家もある。

**地域の集合場所に関すること**

- 地域の集合場所を変更したい。
- 地域の集合場所を覚えていない人もいる。
- 町内全体で話をしていない。
- 町内が道路で分断しているので、それぞれごとに集合場所を決めたほうが良い。

**町内の取組に関すること**

- 高齢者のことは各班長が把握している。
- 町内で毎日、火の用心をしている。
- 災害時持出し袋を3年前に全戸配布した。

**■路地の適正な管理のススメ ～今すぐに取り組める路地の安全性確保に向けて～**

朱一学区に数多く残る路地は、ご近所付き合いなどのコミュニティが息づき、朱一らしい風情をかもし出しています。また、これらの路地は、地震等の災害時には、住民のみなさんの命を守る避難路になるとともに、救助活動のための重要な通路となります。

このため、いつ発生するかわからない災害に対して、安全な避難や救助活動ができるように、路地に面した住民のみなさまが中心となって、常日頃から路地を適切に管理することが大切です。みんなでできるところから「防災まちづくり」に取り組んでいきましょう！

『路地に色々なものを置き、路地の道幅を狭くしない』

『万が一の際に、路地の通行を妨げるようなものを置かない』

『自転車等は整理・整頓する』、『植栽等は適切に管理する』 **等**



色々なものが路地に置かれ、路地の道幅を狭くしています。



災害時に、路地に置かれたものが倒れ、通行を妨げる恐れがあります。



自転車や植栽が適正に管理され、安全で快適な通行ができます。

※路地の写真は朱一学区内のものではありません。

## ■今後も、みなさんと一緒に防災まちづくりの取組を進めていきます！

今年度は、『防災まちづくり』に関する意見交換会をはじめ、防災まちづくりマップの作成や朱一小学校と連携した防災まちづくり等に取り組みます。また、袋路の2方向避難の確保など、まちの安全性を高めるための「すぐにできる対策」を実施するとともに、目指すまちの将来像（防災まちづくりに関する方針や計画）についても検討を行います。これらの取組は、みなさんのご意見を踏まえながら進めていきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします！

## ■「すぐにできる対策」に取り組んでいます！

昨年度から、各ご町内の皆様と協議会が連携し、「すぐにできる対策」に取り組んでいます。今年度も、順次、取組を進めていきますので、みなさんのご協力をお願いいたします。

袋路の緊急避難経路が完成しました！



馬場町中部

### 緊急避難経路整備費助成事業

内 容：袋路から複数の方向に通り抜けられるようにする工事

助成額：上限30万円（全額補助）

問合せ先：京都市まち再生・創造推進室（密集市街地・細街路対策担当）

電 話：222-3503

この制度を活用しました！  
補助金30万円（全額補助）  
で扉が設置できました！

### 助成制度の一例

## 袋路等始端部における耐震・防火改修事業

### 【袋路の入口のトンネル部分を安全にしたい！】

《内 容》トンネル部分の耐震・防火改修工事に要する費用を補助

《補助額》 上限150万円（全額補助）

《内 容》トンネル部分上部建物の除却に要する費用を補助

《補助額》 上限80万円（全額補助）

### 【袋路の入口の建物を地震や火災に強くしたい！】

《内 容》袋路等の入口部にある建築物の耐震・防火改修工事に要する費用を補助

《補助額》 上限250万円（全額補助）

《要 件》 ■昭和56年以前に県市区された建築物であること

■耐震改修により上部構造評点が1.0以上となること

■袋路等に面する1階部分の外壁及び軒裏を防火構造とし、窓を防火設備にすること 等



トンネル部分だけの改修や除却でも、補助が受けられます！

## 『朱一学区防災まちづくり協議会』とは

平成26年度に、まちの安全性を高める『防災まちづくり』に取り組むため、自治連合会と自主防災会を中心として結成した組織です。朱一らしさを大切にしながら、災害に強いまちを目指し、京都市と連携して、防災まちづくり活動に取り組んでいます。

朱一学区防災まちづくり  
協議会メンバー

会 長：竹岡清榮

副会長：古川岩夫、奥本詔八郎

委 員：自治連合会理事・自主

防災会役員、他計15名